

④ 州発言録

■フェアプレーに称賛の声

「秋本が足首を痛めていたことは知っていた。負傷した場所は狙わなかった。特別な理由はない」



広州アジア大会で15日、柔道の男子73kg級決勝で、左足首を痛めていた秋本啓之選手に敗れた韓国の王己春選手(22)＝写真＝は、記者団にこう語った。

王選手は北京五輪でも銀メダルに輝いた実力派。秋本選手との試合後も「けがをした選手に負けた。もっとがんばりたい」などと、言葉少なに語るだけだった。韓国メディアは「フェアプレー」と高く評価。「王選手に敬意を表したい」とした秋本選手の言葉も紹介した。(牧野愛博)

転勤嫌う私思い、転職した父

高校生 澁谷 まゆり

(東京都小金井市 17)

4年前、家族で食卓を囲んでいた時、父がインド出張の話を持ち出した。短期の出張だったから、私は軽く受け流した。実はそれは転勤前の下見を兼ねた出張だった。

後に転勤とわかると、私は泣きわめくという、情けないくらい幼稚な行動をとってしまった。外国が嫌いというよりも、生まれ育った大好きな日本を離れたくなかった

のだ。しかし父は、「子供に転勤を押しつけるのは親のわがままだよな」と言って、泣きわめく私を一生懸命に慰めてくれた。その父の顔を今でもはっきり覚えている。

父はすぐさま転職活動に励んだ。やっとの思いで転職先を見つけた途端、循環器系の病に倒れ、1年余り後に他界した。

あの時、子供の訴えだからといって退けず、父は私の心を尊重してくれた。おかげで私は異郷での寂しさを経験することもなく、日本で快適に過ごしている。わがままを聞いてくれた父には感謝の念しかない。

若い世代